



みなみせや

1月号

あけましておめでとうございます

校長 藤田 優

新年明けましておめでとうございます。令和3年丑年がスタートしました。

感染症対策をしっかり行い今年度残りの3か月を充実させ、令和3年度に向けて着実に準備をしていきたいと考えています。今年もよろしくお願い申し上げます。

「コミュニケーションは密にしたい」

3密を避けるために、日々様々な取り組みをしています。子どもたちにとっては我慢を強いていることも多くあります。特に気になっているのが、給食、食事です。

今給食の時は、皆前を向いて、無言で食べるように指導しています。マスクを外しますし、コロナ禍では当然の取り組みです。しかし食事というものは、人と人が共に暮らしている、最も象徴的な場面でもあります。食事を介してコミュニケーションをとっている、会食しているのが本来あるべき自然な姿だと思います。家族や仲間と一緒に食べる楽しみを味わうことは食育の大事な目的の一つです。しかしそれができません。これはコロナ禍での新しい生活様式などでは決してなく、一日でも早く解消してほしいものです。せめて各ご家庭では、日々の食事の時間を大事にして、コミュニケーションを密にして共に味わっていただければと思います。

「今年の抱負」

希望の感じられる日々を学校では大事にしたいものです。クラスで共に生活している子どもたちに、その一人ひとり違う人生に寄り添うことが、教師の仕事です。40人に40通りの感じ方、思いがあります。学習にしても習得への道筋は人それぞれ。寄り添う基本となるのは、「あなたの未来が明るく開かれますように」という眼差しです。そこには、きっとできる、大丈夫だよという思いも込められます。

それを広い意味で愛とよぶなら、遠藤周作の言葉が当てはまります。「誰かを愛するということは、その人を「信じよう」とする意志にほかならない。もしくは信じる賭けをなすことにほかならない。」

子どもたちの何よりの理解者、保護者の皆さんにとっても同じことが言えると思いますが、大人の覚悟が試されているようです。保護者の皆さんの目線を整えて協力し合っていけるよう、何かができたら認めるとかではなく、ひたすら信じる。力が伸びるであろう環境を整えて育ちを待つ。そんな力をもてる教職員集団でいたいと思います。

欠席等連絡メールをご活用下さい！

*昼夜問わずご利用でき便利です。

